

会 議 録

会議の名称	平成28年度第2回行田市市民公益活動推進委員会
開催日時	平成28年7月11日（月）開会10時30分・閉会11時25分
開催場所	行田市産業文化会館 第2会議室
出席者氏名	串田 隆義 金原 二郎 園田 佳代子 新井 俊夫 稲葉 誠一 今村 武蔵 加藤 智宏 石橋 和夫 松井 秀二郎 智田 輝史（代理：草水氏） 田尻 要 川村 達也 吉田 桂子 黒澤 典弘 坂野 雅英 黒木 忍（オブザーバー） ※敬称略
欠席者氏名	織田 和美 駒見 行彦 細谷 茂樹 木村 奏太（オブザーバー） 東恩納 暖（オブザーバー） ※敬称略
事務局	【地域づくり支援課】吉田主幹 西尾主任
会議内容	1 開 会 2 委員長挨拶 3 議 題 (1)市民活動やる気応援助成金の審査について (2)市民活動講演会について (3)その他 4 閉 会
会議資料	(1)資料1 行田市市民活動やる気応援助成金事業提案書一式 (2)資料2 新たな取組応援事業審査、評価基準表 (3)資料3 行田市市民活動やる気応援助成金交付要綱 (4)資料4 市民活動講演会 大人のための市民活動～地域に愛され、活動力をUP!～
その他必要事項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会を宣言 ・会議成立の報告（過半数の委員の出席による） ・傍聴者なしの報告 など
委 員 長	<p>2 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ
司 会	<p>3 議 事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要綱の規定により、会議の議長を委員長が務める旨の説明
事 務 局 議 長	<p>(1)行田市市民活動やる気応援助成金の審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2及び資料3に基づき説明 ・ご意見、ご質問等があれば、発言をお願いします。 (発言なし)
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者は「行田ゼリーフライ研究会」の松井代表である。10分以内で提案説明をお願いします。
提 案 者	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1「行田市市民活動やる気応援助成金事業提案書」一式に基づき説明
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今の提案内容について、質疑等があれば発言をお願いします。
串 田 委 員 提 案 者	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回と銘打っているが、毎年続ける予定なのか。 ・スタッフの中で「続けたい」という意識が強いので、そのように表記させていただいた。 ・イベントを企画する際に、初めて参加してくれるスタッフが何人かでもいれば「成果があった」と思っている。何も肩書きのない人が新しく動き出すのはハードルが高いので、新しいスタッフに経験を積んでもらう意味でも、企画してよかったと感じている。 ・今回は第1回ということで、その結果を踏まえながら次回以降に繋げられればと考えている。

金原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・告知や実施後のPRについて、新聞社や行田ケーブルテレビなどへ声を掛けるなどすれば、スタッフのやる気も違ってくるのではないかな。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・準備が整ったら、埼玉新聞社と行田ケーブルテレビに情報提供してみたい。
園田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の対象は園児であるが、今後は対象を大人まで拡大し、行田の街なかで楽しめるようにするなど、発想を広げていただきたい。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、さきたま古墳公園で実施することにしたのは、折衝しやすく、借用が比較的容易だったという部分が大きい。 ・まずはやってみることが大事だと思っているので、今後、街なかでの実施についても考えてみたい。
新井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・参加してくれる園児は、あくまで個人的な参加なのか、あるいは園のバックアップを期待できるのか。また、音響に関する予算10万円の中身を知りたい。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・各園の長あてに案内文を持参して、園児の参加と古着提供のお願いをしながら、古着を回収する日などの調整をしているところである。個人的な参加に頼るものではない。 ・まずは、イベントの主旨を理解してもらう必要があるが、自分たちの団体のことを一から説明し、理解してもらうことに苦勞している。 ・音響については、業者から示された金額を計上している。金額が大きいのは、2箇所に分散してスピーカーを設置することになるため、マイクを含む機材一式を借りる予定である。
川村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマが「バクハツ」とあるので、派手な格好をして元気いっぱい立ち回った子どもが優勝というイメージを持っているが、具体的なイメージを教えてほしい。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・暑い中にはなると思うが、晩夏の日を家族で共有して、楽しんでもらえればよいと考えている。

今村委員

- ・ イベントに子どもを集めるのはとても難しい中、500円の参加費を徴収する点が気掛かりである。参加する側は、金額に見合うメリットがあるかをシビアに見ている。
- ・ 無料で何かを配るイベントには人が沢山集まるが、有料となると人の集まりは途端に悪くなる。
- ・ イベントというものは、基本的にはお客の満足度を高めることが目的かもしれないが、主催者側の満足度が第一義であるべきと思っている。
- ・ 来場した客に「来年も開催するのなら、是非とも手伝いたい」と思わせることができれば、今後の広がりにつながっていくと思う。

提案者

- ・ このイベントを通じて、子育て世代の母親と「行田の住み心地はどうか」というような話をしたいと思っている。
- ・ 参加する側から見ても、運営にお金が掛かっていることは分かるはずだし、主催する側としては「できればお金をいただきたい」というのが本音である。
- ・ また、参加者には「ある程度の参加費は必要」という認識を持っていただきたいし、主催者としても「お金をいただくからには身を引き締めねば」という思いである。
- ・ 参加費はワンコインながらも、実質的には一人あたり2千円位の経費は掛かってくる。財源をどうするかというのは、常に課題である。
- ・ 自主財源だけではなかなか厳しいので、今回のような補助金を頼りにしたり、企業の寄附や協賛を募ったりするやり方もある。
- ・ イベントを催すには、やる気だけではできないし、経費も掛かる。財源的に上手く回る仕組みを構築できればよいと考えている。

石橋委員

- ・ 参加者が着た古着は、参加者本人に差し上げるのか。

提 案 者	・古着は余ると思うので、余ったら持ち帰ってもらう予定である。
石 橋 委 員	・子育て世代は、イベントを行う際に一番取り込めない世代であるが、どのように取り込もうとしているのか。子育て世代と同世代のスタッフはいるのか。
提 案 者	・子育てが終わった世代の女性がいる。子育て世代の旦那さんも含めて取り込みたいが、今回のイベントをよいきっかけにしたいと思っている。
石 橋 委 員	・それができれば素晴らしいと思う。
今 村 委 員	・園児を募る園の園長や理事長を説得し、キーパーソンとなってもらって保護者に呼び掛けてもらうのが一番よいと思う。
提 案 者	・園によって温度差があるが、我々の意図や目的を代表者に理解していただき、それが保護者に伝わるのが最良の形と考えている。
議 長	・他に何か意見等はあるか。 (なし)
議 長	・それでは審査に入りたい。提案者は退室をお願いします。 (提案者退室)
議 長	・委員にあっては、審査基準表に基づき審査・採点いただきたい。記入が終わり次第、事務局が回収に伺う。 (審査・採点) (審査表回収) (集計)
事 務 局	・行田ゼリーフライ研究会の提案について、30点満点に対し、委員の平均点が26.94点となったことを報告する。
議 長	・以上で、提案に係る審査を終了する。 (松井委員入室)
議 長	(2)市民活動講演会について ・続いて、議題(2)について事務局から説明をお願いします。

事務局	・資料4に基づき説明
議長	・何か質疑等はあるか。 (なし)
議長	・是非とも聴講されることをお勧めする。
議長	(3)その他 ・議題(3)について、委員の皆様から何かあるか。 (なし)
議長	・事務局からは何かあるか。 (なし)
議長	・これにて議長の職を解かせていただく。
司会	4 閉会 ・閉会を宣言